

# 兵庫県のに漁場環境情報 (東播海域 12 号)

平成29年1月30日発行

兵庫のに研究所

ユーカンピアの発生量は前回(1/24)調査と比較し大きく増減することなく、依然としてこの海域西部沿岸域を中心に多く確認されます。今回調査は上げ潮時であり二見東部周辺まで大阪湾から流入する海水の影響を受けていましたが、その海域で窒素は2~3 μg at/L、一部調査地点を除いた二見以西の海域で1~2 μg at/Lでした。明石海峡周辺海域では、スケルトネマを優占として小型珪藻も多く見られ窒素が3 μg at/L台に減少しています。珪藻(ユーカンピア・小型珪藻)の発生状況と栄養塩動向に注意が必要です。

(水温) 漁場内平均10.3℃。平年より0.8℃高くほぼ昨年並。

(塩分) 平均31.33psu。上げ潮時であり前回調査(31.33psu)と同じであった。

(栄養塩、珪藻) 全域においてユーカンピアが確認されており、前回調査と比較し発生量に大きな増減は見られない。しかし、栄養塩の低い西部域のユーカンピアは全般に色が薄くなっており、色素が抜けた(活力が低下)細胞が散見され始めた。一方、大阪湾から流入する海水中にはスケルトネマを優占としてレプトシリンドラス等の小型珪藻が明石海峡部に進むに従って多く、周辺海域において栄養塩が減少している。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.0	10.3	9.5	10.3
窒素	3.5	2.5	3.2	4.7
リン	0.40	0.34	0.37	0.37

(1/24) (1/29)

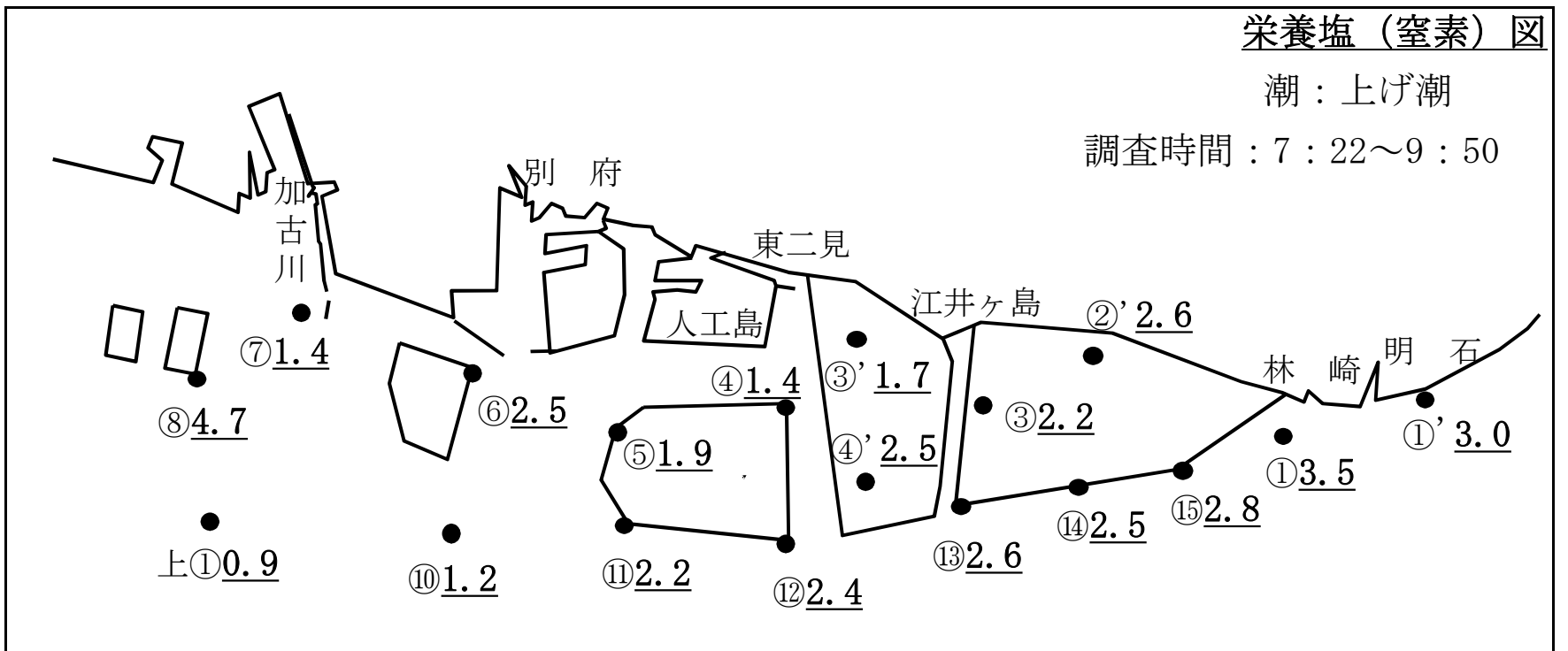
西播地先					
伊保地	水温	10.4℃	伊保沖	水温	10.5℃
	窒素	1.3		窒素	1.3
	リン	0.22		リン	0.23
白浜地	水温	10.5℃	白浜沖	水温	10.6℃
	窒素	1.7		窒素	2.6
	リン	0.29		リン	0.26

平成29年1月30日調査

## 栄養塩(窒素) 図

潮：上げ潮

調査時間：7:22~9:50



## 水温図

